

令和5年度

寄宿舍 『キラリ&ホット』 通信

『友達と共に高め合い自立できる生徒』



2023.7.25 7月号 文責：寮務主任 揚張

今年度は『KANGI Time』として、「キャンパス」「作る」「遊ぶ」「指導員の時間」の4つを行ってきました。それぞれに魅力ある活動を行い、時には笑い、時には汗を流し、時には集中して取り組んできました。日常生活への取り組みも今まで同様、これからの夏休み、家でも寄宿舍で身に付けた力を発揮していきます。

2学期の寄宿舍は、『夏レク』から始まります。それまで元気に夏休みを過ごしましょう。

《舎監日誌より》

舎生会がありました。意見箱への質問に対し、寄宿舍の先生から舎のルールや先生方の思いをもとにして「何故だめなのか。」「この方法なら可能。」という話がありました。舎生達も頷いて聞いていました。集団生活では、周りの人のことも考えたルールを理解することが大事だと改めて思いました。



七夕の集いがありました。先生と舎生の二人で七夕物語を読んでもらいました。大きな声ではっきりと読んでくれたので、物語がスーッと入ってきました。「恋」や「別れ」の言葉に、「キャッ。」とか「はっ！」と思わず声を出している生徒もいて、思わず可愛いなあと思いました。

昨年度、入舎体験を見届けた生徒が、週1回の寄宿舍を利用するようになって約3か月。その時は、「頭の洗い方やドライヤーの使い方を知らない、やったことがない。」と、何が出来るか分からない状態でしたが、自分で頭を洗えるようになり、できないところは依頼できるようになっていました。まだまだこれからの成長に期待しています。



とても暑くなった休み明けでも、舎生達は元気でした。いつものように舎での生活を送っているのが流石で、その環境を作っている指導員の方々の指導支援のお陰だと感じました。「お皿を持つように伝えたら、姿勢が良くなってこぼすことも少なくなった。」とか、「タオルのこっち側が、こう来ているから干すためには…。」などなど。生活の様子を見ているからこそその言葉掛けなどが見られました。